

SDGs REPORT

2030年に向けた取り組み

Happiness goes around

～しあわせはめぐる～

SDGs

わたしたちはコミットします！

しあわせがめぐるアクションを起こすのは「わたし」です。
今の自分を受け入れ、豊かな未来を創造するために行動します。

代表あいさつ



当グループが今日あること、そして存分に働けることは、お客様や取引先はもちろんのこと、職場の仲間、家族といった周囲の多くの人々の支援があるからこそです。自分たちだけで今があるわけではありませんから、その方々に「感謝の心」を持つことを忘れません。全ての皆様に深い愛情と思いやりをもって接することで、そうした心を持った人づくり、心が伝わる仕事、物創りを行うことこそが当グループの使命であります。

代表

西岡 徹人



経営理念

全ての皆様に感謝の心で
愛情と思いやりのある
人・物創り

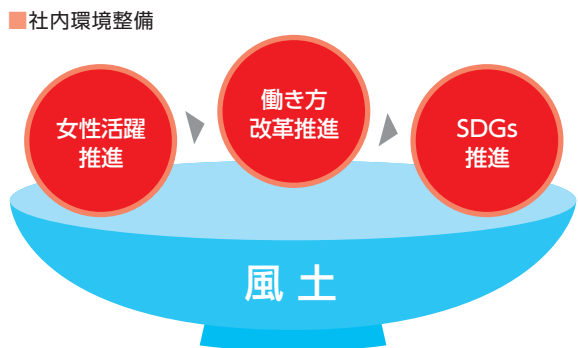
- 1 誰にも負けない努力をすること。
- 2 謙虚にしておごらず。
- 3 毎日の反省(利己の反省および利己の払拭)
- 4 生きていることに感謝する。
(幸せを感じる心は“足るを知る”心から生まれる)
- 5 善行、利他業を積む。
- 6 感性的な悩みをしない。



持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

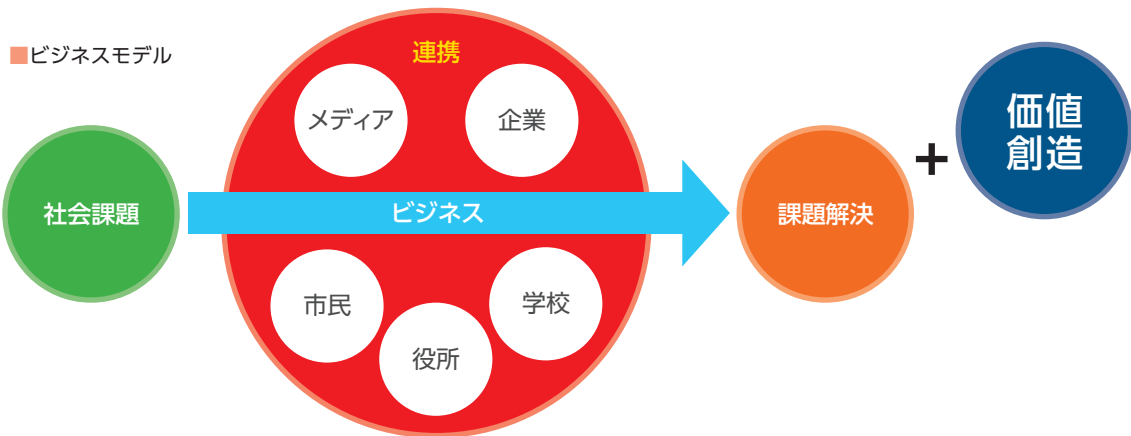
SUNSHOW GROUP

SDGs



SUNSHOW GROUPは、新築注文住宅を提供する建築事業を中心に、外構事業、メンテナンス事業など事業の多角化を図っております。経営理念に「全ての皆様に感謝の心で愛情と思いやりのある人・物創り」を掲げ、岐阜から全国へ、そして世界へ当グループの想いを発信し、地元である岐阜に貢献していきたいと考えております。

そこで、世界基準の社会的な目標である、SDGsの達成に向けた取り組みを行い、理念達成に向けて具体的な活動を行っていききたいと考えております。当グループの経営理念を礎とした社会課題解決型のビジネスモデルと社内環境整備による女性活躍推進は、SDGsの理念「誰一人取り残さない」に沿った普遍性のある取り組みと認識し、企業の存在意義と永続的な活動のために、SDGsを経営戦略の中核に据えました。



SUNSHOW GROUP

21年の歩み

- 2020年
- ・外構事業部からレジリエンス事業部へ名称変更
—新ブランド リビキャンスタート
 - ・SR(Sustainable Renovation) 事業部 発足
 - ・SUNSHOW夢ハウス 岐阜支店 新設
 - ・一般社団法人SDGsマネジメント 創立
 - ・一般社団法人WOMAN'S INDEPENDENCE FORUM 創立
 - ・一般社団法人SDGsBASE 創立

風土改革
開始

- 2013年
- ・カンガルー出勤(子連れ出社) 開始
 - ・ノー残業デー 開始
 - ・代表自らがトイレ掃除 開始



- 2016年
- ・ダイバーシティ構築 開始
 - ・女性支援団体との連携 ママが住みたい家 モデル化
 - ・熊本市被災地応急工事 開始
 - ・メンタルヘルス研修 実施
 - ・内閣府 男女共同参画推進連携会議 議員
 - ・厚生労働省 働き方改革ノウハウ獲得検討委員会 委員

- 2014年
- ・設計事務所「夢工房」開設
 - ・女性管理職 誕生
 - ・SUNSHOW夢ハウス 美濃加茂支店 開設

- 1999年～2011年
- ・西岡興業創業(社員3名)
 - ・プラント工事事業部 発足
 - ・外構事業部・土木工事 請負開始
 - ・名古屋西スタジオ オープン
 - ・N.SUNSHOW(株) 設立

2013

働き方改革
開始

- 2015年
- ・就業規則 見直し
 - ・インターンシップ 開始
 - ・チーム夢子 誕生



- 2012年
- ・自社ブランド SUNSHOW夢ハウス スタート
 - ・クレド・リノベーション 子会社化

2018

- 2019年
- ・SUNDAYS GOOD開設
 - ・株式会社レンゲの里岐阜と提携
 - ・日本政府SDGs推進本部「次世代SDGsプラットフォーム」キャプテン就任
 - ・一般社団法人WOMAN EMPOWERMENT PLATFORM(WEP) 創立
 - ・SDGsバッジ販売によるひとり親家庭支援活動を開始
 - ・11月11日 三承工業創業20周年
 - ・SDGsフォーラム・シンポジウム 開催
 - ・三承工業 新ロゴマーク 策定

- 2018年
- ・SUNSHOW.BASE 開設
 - ・内閣府 男女共同参画推進連携会議 議員
 - ・厚生労働省 過重労働解消検討委員会 委員
 - ・厚生労働省 働き方改革認定企業
 - ・厚生労働省 働き方改革認定講師
 - ・第2回「ジャパンSDGsアワード」特別賞 受賞



※青文字の項目は、
社長西岡の経歴となります。

2019年

SDGsフォーラム・シンポジウム

SDGs達成に向けてと題し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある岐阜の実現のため、「SDGsフォーラム・特別シンポジウム」を官民連携にて開催することができました。第1部「女性活躍推進フォーラム」、第2部「岐阜の挑戦」(11ページ参照)とし、初の開催にもかかわらず県外からも313名の方にご参加いただき、おかげさまで無事に終えることができました。

第1部 SDGs達成に向けて ～女性活躍推進フォーラム～

一般社団法人WOMAN EMPOWERMENT PLATFORM(WEP)は、女性活躍の推進および持続可能な社会の実現に寄与するため、特別ゲストをお招きし、「女性活躍・ジェンダー平等」に関する基調講演と、ひきつづきディスカッションにご参加いただきました。



2019年

三承工業 新ロゴマーク 策定

20年の時を経て、新しく生まれ変わりました。

コンセプト

- 三つの波は三承工業の三を表します。[迅速に対応、安全に施工、確実に完了]
- 三承工業と関係するパートナーシップの皆様が、波に乗ることにより大きな波になりムーブメントを起こします。
- 広げた手で多くの方と知り合いパートナーに。そして、その波が成功に突き進むことをイメージしています。



2018年

建設業初!

第2回「ジャパンSDGsアワード」特別賞受賞

『地域の中小企業が女性活躍の促進やSDGsの普及啓発などに総合的かつ積極的に取り組む』と評価され、全国に約464,000社ある建設業に関わる企業※では初となる「ジャパンSDGsアワード」にて、特筆すべき功績があったと認められる企業として、SUNSHOW GROUPが特別賞(パートナーシップ賞)を受賞しました。

※国土交通省報道発表資料 平成30年度3月現在の建設業許可業者数より



「ジャパンSDGsアワード」とは、2015年に国連で採択されたSDGs「持続可能な開発目標」達成に向けて、優れた取り組みを行う企業・団体を表彰する制度です。表彰式は2018年12月21日に総理大臣官邸にて行われ、当時の安倍内閣総理大臣をはじめ、菅官房長官、河野外務大臣などが出席をし、受賞者への表彰を行いました。2回目となる2018年は約250の企業・団体が応募し、うち15組織が受賞しました。

SDGsの具体的な取り組み



あらゆる場所のあらゆる形態の 貧困を終わらせる



めざす姿

ローコスト住宅分野の「SUNSHOW夢ハウス」を展開し、高額な住宅ローンで生活費を圧迫することを避けた、マイホーム計画を可能にする。そのことで、ひとり親世帯の支援や家族間における生活の充実、次世代を担う子どもの夢や教育への投資に繋げ、相対的貧困の解消に継続的に取り組む。

ナショナル・インディケーター 子供の貧困対策に関する大綱 **ローカル・インディケーター** 岐阜県子どもの貧困対策アクションプラン

メインターゲット (サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標		
			項目評価	数値評価	期間
1.2 1.4 (4.2)	住宅ローン借入を低くし、返済による負担の軽減を図る	土地費用及び施工費の削減率	規格化プランを行い工期の短縮による削減	7%の削減	～2030年
			土地一括仕入れによる、土地仕入れコスト削減		
			棟数増による、大ロー一括材料仕入れで、資材コストの削減		
1.2 1.4	広範囲の方に、ベストプランを提供できる場や機会を整備する	直営の営業支店の開設	岐阜中央エリアに支店を開設	－	～2022年
			岐阜西部エリアに支店を開設	－	～2024年
	ひとりでも多くの方にたいして、安住を提供してい	年間の受注数	年間100棟の受注数	100棟受注	～2025年
		ローコストプランのラインナップ	ひとり親世帯に向けた新規プラン、ブランドの立ち上げ	－	～2021年

ターゲットに対して期待する効果

1.2	ターゲット : 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。 期待する効果 : 世帯あたりの教育に充てる費用拡大を行い、教育環境や進学環境の充実を支援し、相対的貧困の連鎖解消へと繋がる。
1.4	ターゲット : 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。 期待する効果 : 脆弱層を含む全ての人に基礎的サービスや、経済的資源についても平等な権利を持つことができる機会が、より広範囲に広がる。
(4.2)	ターゲット : 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達支援、ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。 期待する効果 : 子どもの健康面や学習面における環境の充実を支援し、日常生活の質向上を図る事で、家族の幸福度をあげ順調に子どもが発育できる世帯が増える。

Pick up!

年間受注数

「マイホームを持つこと＝次の夢をつかむためのきっかけ」と考えるSUNSHOW夢ハウスは、2012年に事業展開をスタートし、累計300棟を超えました。お客様の想いを形にするために、住宅ローンへの不安から生活相談まで幅広くサポートすることで阻害要因を取り除き、お引渡し後の生活の質(QOL)が高まることを願っています。今後年間100棟受注に向けて、営業力向上、人材育成、広報戦略など複合的に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染拡大(COVID-19)の影響

- ・オープンハウス開催にあたっては、完全予約制にてご対応。
- ・オンラインでの打ち合わせや商談を可能にするために支店にICTを導入。(▶P12参照)



年間受注数

54棟

(グループ総受注数 64棟)

岐阜支店開設

2020年8月、SUNSHOW夢ハウス岐阜支店を開設いたしました。外的要因からの影響を軽減し持続可能な活動を行うために、お客様への安心拠点創りをはじめ、今後の支店展開のモデルケースとなり得る社員のニューノーマルな働き方を推進していきます。また、共創パートナーとの連携強化を柱に新たな連携先とのイノベーションにも期待しております。



ジェンダー平等を達成し、 すべての女性及び 女兒の能力強化を行う



credo home チーム夢子

めざす姿

男性中心の建設業という枠組みを壊し、女性だけの工務店の展開による女性の雇用機会の創出をはじめとする、積極的な女性管理職の登用を図りキャリアアップに取り組んでいく。社内環境の整備、子育てママの採用などを積極的に行い、誰もが平等に活躍できる場の提供に取り組む。

ナショナル・インディケーター 第4次男女共同参画基本計画、女性活躍推進法、未来投資戦略2018 **ローカル・インディケーター** 清流の国ぎふ女性の活躍推進計画

メインターゲット (サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標		
			項目評価	数値評価	期間
5.1 5.4	働きたいと思っている女性の雇用機会を増やす	社内女性社員比率55%を目指し維持する	保育、介護に対する社内制度の充実	－	～2030年
			女性社員が平等に活躍できる業務環境を整備	－	
			カンガルー出勤の抵抗がない環境を整備	－	
5.1 5.5	女性社員に対する適正な評価を推進する	管理職比率30%を目指し維持する	勤務時間に左右されない人事評価制度の策定	－	～2022年
			ポジティブ・アクションを推進し、女性の差別的格差を解消	－	～2030年

ターゲットに対して期待する効果

5.1	ターゲット : あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。 期待する効果 : 女性に対する先入観を撤廃し、男女同じ目線での業務分担、成果に対する報酬制度を推進し、女性に対する固定観念の修正に繋がる。
5.4	ターゲット : 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。 期待する効果 : それぞれの家庭における育児や介護の負担を、適正に理解し、行動を尊重することで、家庭内からくるハンデを取り払い、平等な評価へと繋げる。
5.5	ターゲット : 政治・経済・公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。 期待する効果 : 平等なキャリアアップの機会を提供し、女性も抵抗なく管理職に対する意欲が湧く職場環境を整備する事で、多様性で平等な意思決定の場を増やす。

Pick up!

女性社員比率上昇

前年から0.2ポイント上昇し56%となりました。建設業界における当グループの女性就労率は、継続して高い水準となっているほか、女性の定着率の高さ、ライフイベント(出産)による離職率の低さも安定しております。その要因として、カンガルー出勤制度の確立や性別による固定観念で業務を縛るのではなく、個々が持っている能力や強み(得意分野)に評価基準を置き、誰もが参画し活躍できる社内環境整備を行ったことに結びつき、さらにやりがい・働きがいに繋がっています。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による影響

新規雇用(中途採用) 一級建築士 1名

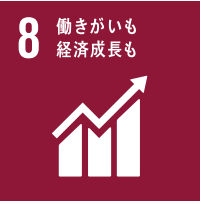
チーム夢子プロジェクト (SDGs推進チーム)

来期より独自に策定した社内指標(インディケーター)を基に達成に応じた評価を行えるよう新たな評価体制づくりを行っていくために、SUNSHOW GROUPの強みの一つである女性の力を頼りに進捗管理・数値管理を行ってまいります。そのためには、改めて全社員がSDGsの重要性と所属事業部にひもづいた目標を理解し「めざす姿」を共通認識していることが前提として必須であるとともに、指標を活用することで現状理解を促進し次のアクションへ繋げていくことを狙っています。



女性社員比率

56%



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の 完全かつ生産的な雇用と働きがいのある 人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する チーム夢子

めざす姿 多様性のある働き方を尊重した制度を積極的に取り入れ、生産的な雇用環境の整備に取り組む。
さらに、全社員の生きがい、やりがい、働きがいのある職場環境をつくり、高いレベルでの経済生産性へと繋げる。

ナショナル・インディケーター 第4次男女共同参画基本計画、日本再興戦略2016 **ローカル・インディケーター** 岐阜県雇用対策協定に基づく事業計画

メインターゲット (サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標		
			項目評価	数値評価	期間
8.2 (4.4)	個々の能力向上を支援する 社内環境の整備	自己成長の場の 提供を促進	資格取得、習い事支援制度の導入	—	～2021年
			成果の適正評価、見える化を行う	—	～2021年
		職能系資格取得の推進	技能士資格の取得推進	5名	～2025年
			施工管理技士の取得推進	5名	
8.5	多様性のある働き方を尊重し ワークライフバランスを 推進する	残業時間数、 休日出勤日数の削減	ICTの活用で業務効率の向上	—	～2030年
			個々における仕事量の適正化	—	
		多様な働き方をしている 社員の人数	在宅ワーク制度の導入	—	～2021年
			社員のライフステージを支援する 制度の導入	—	

ターゲットに対して期待する効果

8.2	ターゲット ：高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。 期待する効果 ：様々な自己成長の場の提供により、課題解決力や創造力を育み、高いレベルでの価値の提供や、より効率的で効果的な生産現場へと繋げる。
8.5	ターゲット ：2030年までに、若者や障がい者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。 期待する効果 ：身体的な障害や育児や介護との両立など、多様性のある働き方制度を拡充し、様々な環境下の人も活躍できる環境を整備し、失業動機の低減に繋げる。
(4.4)	ターゲット ：2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。 期待する効果 ：自己の人格を磨き豊かな人生を送ることができるように、あらゆる機会において学習する場を提供する事で、生きがいや働きがいへと繋がる。

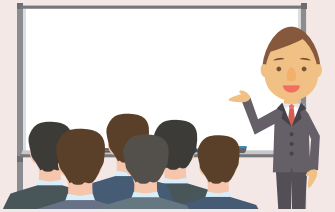
Pick up!

ポストコロナに向けた働き方

コロナ禍により当たり前だと思っていた常識(通勤、出張、印鑑、名刺、対面打ち合わせなど)が常識ではなくなり、特に影響が大きかった社員の働き方を可能な限り多様で柔軟な働き方へ促進する機会となりました。既存支援制度である「カンガルー出勤」と並行して在宅ワーク制度の確立を目指し、緊急事態宣言中に浮き彫りになった課題を精査し、社内ICTツールの再検討、評価制度の見直し、新支援制度、セキュリティ対策などを行い、高生産性へシフトする働きかけを来期より順次計画していきます。

持続可能な組織運営へ布石

未来を変える人創りを行うことで物創りが変わります。当グループは社会課題をビジネスで解決できる人財、ひいては会社の成長発展・社会に貢献する人財を増やすことを来期より注力してまいります。布石として、今期は個々の能力向上を支援する社内環境の整備へ取り組み、管理職、営業職を中心に総勢16名が可能思考を高めるセミナーを受講し、日々の積み重ねと実践を通してチーム全員が目標実現を目指すために、積極的に関っていきました。業務(手法)は違えどベクトルを合わせてチーム全員で進んでいくスキームはSDGs達成へのスキームに共通します。



各国内及び各国間の 不平等を是正する SUNSHOW夢ハウス

めざす姿 日本で働き、家族を持ち、定住を希望している外国籍の方に対して、“言語の壁”による土地の購入や、住宅ローンの借入れ難解消に向けて、サポート体制を整備し、一人でも多くの外国籍の方と共生していける地域社会の環境づくりを行う。

ナショナル・インディケーター 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策 **ローカル・インディケーター** 第3次美濃加茂市多文化共生推進プラン

メインターゲット (サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標		
			項目評価	数値評価	期間
10.3	より多くの外国籍の方へ、 安住を提供する	地域コミュニティとの 融合の推進	外国籍の方に向けた、 専門分譲企画の実施	1回/年	～2030年
		専門支店の開設	外国籍の方専門の 営業支店を開設する	1支店開設	～2023年
		外国籍の方の正規雇用を 推進する	外国籍の方が活躍できる 業務環境を整備	4人の正規雇用	～2025年
10.7	正しい知識を深め、 安心できる住宅取得の推進	気軽に相談できる 環境整備	外国籍の方専門の 相談窓口を開設する	1ヶ所開設	～2021年
		ローンの申し込みから、 契約率の向上	ローンセミナーの定期開催で、 ローンアウト率を減らす	—	～2030年

ターゲットに対して期待する効果

10.3	ターゲット ：差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。 期待する効果 ：外国籍の方のハンデを軽減し、より多く活躍できる場の提供を行い機会均等に繋げる。ネットワークの垣根を取り払う事で共に成果を作る環境の促進に繋がる。
10.7	ターゲット ：計画に基づき良く管理された移民政策の実施などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する。 期待する効果 ：外国人のコミュニティ不参加による治安悪化を防ぎ、低価格で高品質な住宅の提供を行い、良質な関係を築き安心して住み続けられる町づくりに寄与することができる。



第3回お客様交流会をリバーポートパーク美濃加茂にて開催。リース作り、BBQを始め親子で楽しめる様々な体験を通して多様な人種が交流する様子が見られ、異文化交流の機会提供の場となりました。

Pick up!

外国籍の方への住宅提供

美濃加茂支店を中心に、外国籍のお客様の住宅受注数は前期対比1.5倍増となり22棟を受注いたしました。SUNSHOW夢ハウスにおける総受注数の41.5%を外国籍の方が占める結果となった要因を以下のように分析しました。国内の在留外国人および外国人労働者数が過去最高となっていることもあり、外国人市民が分け隔てなく対等な市民として、安心して快適な生活を送れるようにひきつづきサポートしてまいります。

内的要因	外的要因	■外国籍の方への住宅提供 受注数
・外国籍社員の人財育成による営業力向上 ・通訳の質 ・ポルトガル語、タガログ語／英語に対応したSNSから送客する仕組みの構築 ・住宅取得支援から生活相談までトータルサポート体制	・入管法の改正により、外国籍の方の急激な増加や定住化が進んでいる ・これまでに住宅取得を実現した外国籍の方がロールモデルとなり、波及効果をもたらしている	1.5倍増

外国籍の方専門の 相談窓口

住宅取得における正しい知識を深め、安心できる住宅取得を推進するため、外国籍の方専門の相談窓口を開設する準備を進めております。外国籍社員を配置し、外国籍の方が気軽に相談ができる環境を整備することで、多文化共生社会の実現を目指す自治体の取り組みに寄与していきます。



包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で 持続可能な都市及び人間居住を実現する



めざす姿

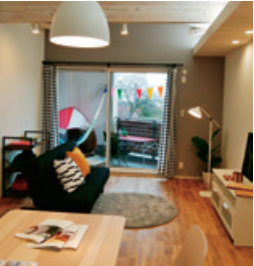
岐阜市及びその近郊における戸建て住宅において、「防災意識の高い住宅づくり」を発信し、行政に頼り切る防災ではなく、各世帯の自助意識を高めていく。震災等のあらゆる自然災害から、家族が自給自足で生活できるだけの環境を有する件数の増加と、住み続けていきたいと思える街づくりを提唱していく。

ナショナル・インディケーター 国土強靱化アクションプラン ローカル・インディケーター 岐阜県強靱化アクションプラン

メインターゲット (サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標		
			項目評価	数値評価	期間
11.5 (1.5)	防災意識の向上や、 知識提供の場を作る	防災啓発活動への参画	防災啓発活動イベントの開催	1回/年	～2030年
			防災啓発活動イベントへの参加	1回/年	
	災害に対応できる環境の 整備を提唱する	被災してから自力で 生活できる世帯数を 増やす	お引き渡しをする顧客へ 防災グッズの提供	全棟対象	～2030年
			防災を軸に置く 新商品ブランドの開発、提供	1件商品化/年	
			キャンプのできる庭を夢ハウス 標準プラン化し提供していく	50%の提供	～2030年

ターゲットに対して期待する効果

11.5	ターゲット : 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。 期待する効果 : 自助意識の向上と、有事の際の備えを強化し、自然災害などにおける被災者を削減する。
(1.5)	ターゲット : 2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性(レジリエンス)を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。 期待する効果 : 自助意識の向上と、有事の際の備えを強化し、極端な気象現象や自然災害などにおける被災による被害レベルを軽減する。



Pick up!

レジリエンス事業部発足

国土強靱化計画に基づき、お客様、地域、当社、この3方の防災レジリエンス*の強化と向上を目指すため、この度、外構事業部から「レジリエンス事業部」へ名称を変更いたしました。これまでに発表した「キャンプできる庭」においては、「防災意識の高い住宅づくり」を提唱し、お客様へ日常から自助・共助意識の向上の必要性を訴求する国土の強靱化推進に向けた取り組みにとどまっておりました。これに加えて、経済社会システムの強靱化に寄与するため、当社の迅速な復旧復興への体制基盤を整えることで、レジリエンスの向上を図り、強靱なまちづくりを推進していきます。

※災害などのリスクに対する抵抗力や災害を乗り越える力

新ブランド「Living Can: リビキャン」誕生

日常から「災害時の力」、「自然界と共存する力」、「助け合う力」を育むために、「家であそぶ、家で楽しむ」をテーマにワクワクとした日常を過ごしながら、レジリエンスを高める家創りをご提案する建築ブランドが誕生しました。また、全棟耐震等級3級以上、長期優良住宅の施工により「きちんと手入れをして長く大切に使う」サステナブルな家創りにもご対応します。



持続可能な開発のための実施手段を 強化し、グローバル・パートナーシップを 活性化する



めざす姿

情報発信基地であるSUNSHOW.BASEより、市民参加型のイベントを通してSDGsを身近に感じてもらう機会を創出。さらには自治体と企業、そして地域住民と、SUNSHOW GROUPの事業それぞれの取り組みが有機的に統合し合い、社会課題解決に貢献することを目標とする。

ナショナル・インディケーター SDGsアクションプラン2020 ローカル・インディケーター 岐阜県 SDGs未来都市計画

メインターゲット (サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標		
			項目評価	数値評価	期間
17.7	各種団体と自社商品との融合で、 既存の商品サービスに 新たな付加価値を産み出す	各種団体とのコラボ モデルハウスの建築	子育てママとのコラボで、 女性目線の建築プランを提供	—	～2021年
			介護関係団体とのコラボで、 高齢者や介護向けプランを提供	—	～2020年
17.17	SDGsの発信を行い、 持続可能な 社会実現に寄与する	SDGsを広め 認知度を上げる	SDGsを軸にしたイベントを開催し、 広く周知活動を行う	5回/年	～2030年
			多くの講演会に参加し、 講演を通じSDGsへの理解を求める	50講演/年	
		協力業社会 CSR推進会議の開催	社会貢献推進会議を定期開催し、 CSR活動を深める	1回/年	

ターゲットに対して期待する効果

17.7	ターゲット : 開発途上国に対し、譲許的・特惠的条件などの相互に合意した有利な条件の下で、環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散を推進する。 期待する効果 : SDGsを基とする各種団体や様々な方とのパートナーシップにより、社会課題配慮型の商品やサービスが産まれ健全な経済発展に繋がる。
17.17	ターゲット : さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。 期待する効果 : SDGsの啓発活動をはじめとする社会貢献活動を提唱し、パートナーシップの輪を広げ目標に取り組む事で、地域社会の持続可能な成長の実現に繋がる。



SDGsを忘れないメモ帳
第2回「ジャパンSDGsアワード」にて同じく受賞した株式会社大川印刷様とコラボして作ることができました。SDGsの啓発活動として延べ250名の方の手下へお届けしました。



Pick up!

子育て支援団体とコラボした家 【穂積モデル】木造2階建て

自然災害に備えた家づくりを実現するため、『NPO法人こどもトリニティネット』とコラボし、子育て中の女性約120人から集めたアンケート結果をもとに間取りや住居設備を考えることで、家族が生涯安心して暮らせる住宅づくりをご提案しました。

※特長
独立した収納スペース
地震発生時、2階部分の重みで1階がつぶれることがないよう独立した設計。
電気・ガスのハイブリッド給湯器の設置
停電時にはガスで給湯。ガスが停止した際は蓄電池で給湯運転が可能。
廊下に自動点灯機能付きの足元灯
平時は常夜灯として使用。非常時は保安灯・携帯電灯として使用可能。

オーガニック・マルシェ開催

市民のSDGs認知度を高め、日々の暮らしの中で一人ひとりができることから行動へうつしていく提案の場としてイベントを開催しました。約20の出展ブースは、エコやオーガニックにこだわった衣・食・雑貨などの販売や、ダンボールコンポスト、エコラップなどのワークショップを提供し、延べ200名にご来場いただきました。またマイバッグ持参を呼びかけた結果、全体の約40%が持参したことから環境・社会へ配慮した生活に意識が高い方の共感を得られたイベントとなりました。

その他イベント開催

- ・SDGsフォーラム シンポジウム
- ・岐南町キッズニア教室
- ・CREDO夏祭り
- ・秋のキッズワークショップ

■オーガニック・マルシェ来場者数

延べ **200** 名

SDGsフォーラム・特別シンポジウム開催 『SDGs達成に向けて ～岐阜の挑戦～』

SDGsに関わる多くのパートナーと連携構築を進め、私たちの地域や企業において、SDGsを推進していくため、外務省国際協力局地球規模課題総括課より春田様、岐阜市長柴橋様をお招きし、国・市政からの異なった視点で講演と対談を行っていただきました。また、県内5企業、市内小学校から先進的なSDGsの取り組み事例を発表していただき、SDGsへの関心を高めるとともに、県内においてもSDGsを共通言語に様々なステークホルダーとの連携構築を強化・促進するきっかけとなりました。



開催概要

開催日：2019年11月11日
場 所：都ホテル岐阜長良川
動員数：313名
主 催：一般社団法人WOMAN EMPOWERMENT PLATFORM (WEP)
後 援：外務省、岐阜県、岐阜新聞社 岐阜放送、岐阜市教育委員会、
一般社団法人SDGsプラットフォーム、一般社団法人 岐阜経済人協議会
協 力：岐阜市立長良西小学校、SDGsナビ、株式会社Your DREAMS、
一般社団法人SDGs支援機構
協 賛：リコージャパン株式会社岐阜支社、サンメッセ株式会社、
大和証券株式会社、日本生命保険相互会社、SUNSHOW GROUP

ご来場様よりいただいたご感想

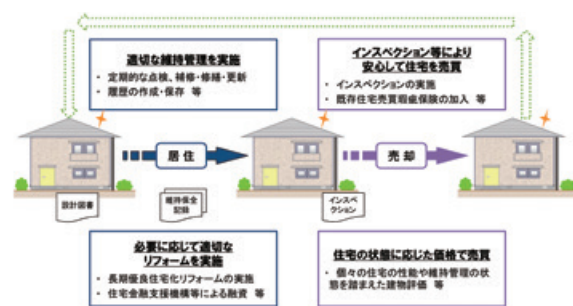
- ▶「小学生の発表に大変感銘を受けました。気が引き締まる思いになりました」
- ▶「企業の取り組みを知る機会がなかったので、SDGsのことがより深く理解できました」
- ▶「全く知らなかったSDGsがこんなにも身近な目標だったことがわかり大変勉強になりました」
- ▶「SDGsについて深く知れたことで、自分も取り組んでみようと思いがわきました」

新事業部 サステナブル・リノベーション(SR)事業部創設 性能向上プレミアム住宅

「住宅・土地統計調査」によると住宅ストック数(約6,200万戸)は、総世帯(約5,400万世帯)に対し約16%多く、量的には充足(2018年時点)していることがわかっています。今後10年の課題には、少子高齢化、人口減少に伴い世帯数の減少により空き家がさらに増加すること、また、リフォーム・既存住宅流通などの住宅ストック活用型市場への転換の遅れへの対応が懸念されています。

SR事業部では、入り口と出口を考えた新しいリフォームのご提案

により、新たな住宅循環システムの構築を創出することで、既存住宅・リフォーム市場の活性化を促します。具体的には、2階建てを減築し平屋建てにすることで、利便性、省エネ性、耐震性、断熱性を向上させ、長期優良住宅の認定を取得するだけでなく、住み慣れた環境で住み続けられるという安心感を提供します。また、適切な維持管理を実施し、履歴の作成・保存などを行い、(一社)日本住宅リフォーム産業協会(JERCO)の認定を受けることで、資産として価値のある住宅づくりを行い、安心・安全な暮らしを実現していきます。 出典:国土交通省「既存住宅流通を取り巻く状況と活性化に向けた取り組み」資料3



新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

岐阜支店開設による新提案を今後実施

ポストコロナに向けた新たな取り組みとして、専用タブレットの貸与や店舗内に設置した専用モニターにてリモートでの商談を可能にするなど、お客様が家にいながら打ち合わせができるようにICTを活用した環境整備を行いました。またカタログ等の受け渡しにおいては、あらかじめ指定いただいた場所(玄関前、置き配バッグ、宅配ボックス、車庫、物置など)に非対面でお届けできる独自の「置き配」サービスをご提案しています。社員に対しては店舗にとらわれず様々な場所で活動できるように職場ルールを変更するなどの取り組みを行ってまいります。



支 援

ぎふおえかきコンテスト開催

外出したくても出来ない!何をして過ごそう?と困ってみえるご家族に"お子様とのおうち時間を楽しく過ごしていただきたい"そんな想いで、SUNSHOW夢ハウスは子どもたちを対象に、おえかきキャンペーンを企画しました。『ぼく、わたしの家族』をテーマに完成した絵をSNSに投稿してもらいました。

WEP

突然の長期間の休校、休園により、全国に子どもたちの預け先に困ってしまった子育て世帯の方が多くいるという問題が浮上しました。そのような中、当グループは7年前からカンガルー出勤(子連れ出社)を行っているため、該当者へ迅速に対応することが可能となりました。この実績と経験を基に、この緊急事態を機に、少しでも多くの企業がカンガルー出勤を受け入れられる体制になってほしいと願い、知識とノウハウを提供する支援活動を行いました。

社内体制

緊急事態宣言により、社員とその家族の人命を守ることと社内体制の変容が緊急に求められ、ワークライフバランスの促進、ICT導入と利活用、BCP(事業継続計画)など、普遍的に対策を講じていかなければならない事象が明確化しました。これを機に社会のパラダイムシフトに柔軟に対応をしていける体制へ整えるため、以下の対応を行いました。

本社オフィス、フリーアドレス対応

誰もが働きやすい職場環境整備の一環として、女性スタッフを中心にオフィスの一部デスクをフリーアドレスとしました。資料の保管は基本的にはクラウド管理とし、その日の業務内容、気分に合わせて誰でも自由に使用ができます。時短・効率を上げ、残業時間の削減に繋げることでワークライフバランスを促進していきます。

オンライン会議の推奨

これまでの常識が覆り、会議、打ち合わせの在り方を見直し、オンライン会議を推奨しました。「一つの場所に集まるべきだ」という固定概念が払拭されたことにより、移動時間がそのままお客様のために充てる時間に代わったため、会社の目的達成に向けてさらに高品質なサービスを提供することへ尽力していきます。

里山保全への取り組み

竹は成長速度が非常に早く、里山などでは管理が大変なことに加え、処分にも困ります。クレドファームでは、竹林の管理・保全の過程において竹を粉碎機でチップにし、利活用について研究しています。竹チップは様々な使用が可能で、1) 土壌改良剤、2) 家畜の飼料、3) 生ごみの消臭などがあり、その中で発酵槽をつくる過程で発生する発酵熱の利活用にむけて研究中です。



収穫祭、もちつき大会の開催



6月に植え、無農薬で育てたお米の収穫体験を行い、その玄米で12月にもちつき大会を開催しました。農的な暮らしから遠ざかっているご家庭にとって、鎌で稲を刈る作業や杵と臼を使ったもちつき大会は、嬉しい・楽しい・美味しい日本の伝統行事です。このような行事イベントへの参加機会の提供を通して、毎日の食卓を彩る食材について、親子で思いを馳せスマート農業の推進、食品ロスの社会問題などに対して興味・関心を向けてほしいと願っています。

SDGsバッジでランドセルを届けよう

SUNSHOW GROUP、一般社団法人WOMAN EMPOWERMENT PLATFORM (WEP)、SDGsプラットフォームの3者による共同プロジェクトを開始し、初めての報告となります。SDGsバッジの販売による利益金と発行する全請求書の下3桁を合算した結果、272,331円となりました。年間目標金額15万円を大きく上回ることができたのは、本プロジェクトへの皆様からのご理解とご協力のおかげです。誠にありがとうございます。2021年3月に岐阜市寡婦母子福祉連合会様へランドセルを寄付する予定です。



■SDGsバッジの販売による利益金と
発行する全請求書の下3桁を合算した金額

272,331円



年間講演依頼数

全国の青年会議所 (JC)、行政機関など、中小企業経営者を対象とした講演のご依頼をいただいたことから、経営者のSDGs認知度向上を実感しました。「SDGsと経営」という共通した大きなテーマの中で、SDGsに取り組む必要性やその効果、どのように取り組み、何から始めたらよいか?など当社の事例を基に講話しました。そのためにはまずは社内風土の改善の重要性和プロジェクトチームの結成がカギであることをお伝えしました。

■年間講演依頼数

延べ **83** 講演



今後の目標

SUNSHOW GROUPが目指す姿

今わたしたちが直面する様々な社会課題に対して、ビジネスを通して主体的に解決に向けて取り組むことこそが、地域社会に根付く企業における普遍的企業使命だと考えます。中小企業に課せられた期待は大きく、この企業使命を果たすためSUNSHOW GROUPは、家創りをはじめとする様々な事業活動を通して、活気あるまちづくりに貢献し、携わる皆様と共に成長し意識を高めることで、持続可能な未来をつくる人づくりを行います。

『SUNSHOW.BASE』を起点として岐阜市、岐阜県、やがては日本国、そして世界へ影響力を与えることのできる未来志向の人を一人でも多く増やし、この価値観を上げていくことで、次世代へつなげる豊かな社会を実現します。SUNSHOW GROUPは、社会課題をビジネスで解決できる人や企業を増やすこと、そして、生きがい、やりがい、働きがいを見出し、誰もが活躍できる企業の在り方の一つとして多くの方に伝え、あらゆる変革に対応できる社会を創っていきたいと考えます。

わたしたちは一人の人間の持つ力を信じて『未来を変える人・物創り』をスローガンに掲げ、更なる豊かな社会の実現を目指していきます。

